



A 試合会場レポート

試合番号 **863** 開催日 **2022/04/10**

V・チャレンジマッチ ～2022-23 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN 出場決定戦～ V・チャレンジマッチ

会場： 四日市市総合体育館

観客数:423	開始時間:12:00	終了時間:14:36	試合時間:2:36	主審:戸川 太輔	副審:沢田 元
---------	------------	------------	-----------	----------	---------

ヴィクトリーナ姫路



監督 : 安保 澄
 コーチ : 高橋 駿
 通算 : 2勝0敗
 ポイント : 5

3	25	第1セット 【0:28】	20	2
	25	第2セット 【0:31】	21	
	22	第3セット 【0:34】	25	
	24	第4セット 【0:35】	26	
	15	第5セット 【0:16】	9	

ポイント 【 】内はセット時間
 2 ()内は交代選手 1

群馬銀行グリーンウイングス



監督 : 高橋 悠
 コーチ : 丸山 佳穂
 通算 : 0勝2敗
 ポイント : 1

<監督コメント>	
<p>本日も大勢の皆様から応援をいただきまして、心より感謝申し上げます。 ゲームの序盤は、昨日先勝したアドバンテージもあり、優勢にゲームを運ぶことができました。しかし、第3セットに相手チームのラインナップ変更に対する戦術変更の判断が遅れ、対応が後手になったことがフルセットとなった原因の一つであり、私たちスタッフ反省しなければならぬところだと思えます。</p> <p>2022-23シーズンもV1で戦えることになり、しっかり地力をつけて臨めるようトレーニングしていきたいと思えます。</p> <p>引き続きのご声援をよろしくお願ひ申し上げます。</p>	

25	プラク	孫田	第1セット	伊藤	田中	20
	佐々木	長野(金田)		新井	古市(松尾)	
	櫻井	古市(貞包)		加ら	菊地	
リペロ: 花井		リペロ: 栗栖				
25	佐々木	プラク	第2セット	伊藤(藤井)	田中	21
	櫻井(大元)	孫田(坊野)		新井	松尾(古市)	
	貞包	長野(金田)		加ら(中田)	菊地	
リペロ: 花井		リペロ: 栗栖				
22	プラク	孫田	第3セット	伊藤(藤井)	加ら	25
	佐々木(大元)	長野(金田)		新井	古市	
	櫻井	貞包		田中	菊地(清水)	
リペロ: 花井		リペロ: 栗栖				
24	長野	プラク	第4セット	伊藤(藤井)	加ら	26
	櫻井	孫田		新井	古市	
	貞包	大元(佐々木)		田中	菊地(清水)	
リペロ: 花井		リペロ: 栗栖				
15	長野(金田)	プラク	第5セット	伊藤(藤井)	加ら	9
	櫻井	孫田		新井	古市	
	古市	佐々木		田中(中田)	菊地	
リペロ: 花井		リペロ: 栗栖				

<監督コメント>	
<p>チャレンジマッチ2戦目、崖っぷちの中フルセットの末敗れたものの選手全員がよく頑張っていたと思います。それから対戦相手であったヴィクトリーナ姫路さんから多くのことを学ばせていただき、感謝申し上げたいと思います。</p> <p>本日の試合をもって今シーズンを締めくくりましたが、いろいろと大変な環境の中サポートしていただいた方々も本当にありがとうございます。</p> <p>また来年もこの場に立ち、チャレンジできるように頑張りますので、引き続きご声援よろしくお願ひします。</p>	

<要約レポート>

DIVISION 1・11位ヴィクトリーナ姫路とDIVISION 2・2位群馬銀行グリーンウイングスとのチャレンジマッチ第2戦。

第1セット、昨日の勝利で硬さの取れた姫路は序盤から動き良く、孫田、プラクの攻撃や長野のクイックなどで先行する。対する群馬銀行は、中盤から、田中、松尾、伊藤の攻撃などで、追いつける。一時は7点差となったが、群馬銀行は、田中、カルラの攻撃で3点差まで詰め寄る。姫路は、佐々木の攻撃やサービスエースもあり、最後は孫田が攻撃を決めてセットを先取した。

第2セット序盤、群馬銀行は、カルラ、菊池、田中の攻撃などで先行する。しかし、姫路は、佐々木、長野、プラクの4本のブロックで群馬銀行に思うような攻撃を許さない。プラクの攻撃で逆転に成功した姫路は、貞包の攻撃などで、点差を広げる。群馬銀行は、後半、田中、中田、古市の攻撃で追いつけるが、貞包、孫田、プラクの攻撃で逃げ切った姫路がセットを連取した。

第3セットは、姫路・長野のクイックから始まった。姫路は、プラクのブロック、孫田の攻撃などで先行する。群馬銀行も菊池、古市、カルラの攻撃などで独走を許さない。貞包、長野、プラクの攻撃などで逃げる姫路を群馬銀行は、田中の攻撃や新井のサービスエースなどで捉えて逆転に成功。最後は清水がブロックで決めて群馬銀行がセットを取り返した。

第4セット、勢いに乗った群馬銀行は、多彩な攻撃と粘り強いレシーブで、先行する。姫路は、プラク、孫田の攻撃で追いつけ、終盤に貞包の攻撃で追いつく。デュースになったこのセットは、群馬銀行が取った。

第5セット、プラクの攻撃や長野のブロックなどで姫路が大きくリードする。序盤のリードを守った姫路がこのセットを取り、ファイナルセットにもつれたこの試合に勝利した。

姫路は、チャレンジマッチ2連勝。DIVISION 1 残留を決めた。

